

**壱番 森町区 上杉謙信** うえずぎけんしん

慈道 美苑 (森町) 今野 洵 (三国東)  
 國兼 果朋 (三国東) 竹澤 良亮 (森町)  
 湯下 楓花 (三国東) 前田 陽大 (竹松)



森町区は、三国湊の総鎮守である山王宮(現三国神社)の門前町として繁栄し、山王森町とも、山王町とも呼ばれた区です。また、明治に入るまでは、今の三国祭は山王祭(さんのうまつり)と呼ばれておりました。この森町区では、伝統ある「お囃子」を青年会が継承し、笛と三味線を青年会、太鼓を子供会が担当して、3年に一度の山車奉納を行います。

今年の山車は、「上杉謙信」です。越後の国を統一した戦国武将、戦国時代で屈指の「戦い上手」で、「軍神」や「越後の龍」などと称され、特に、宿敵「武田信玄」との5回にわたる「川中島の戦い」は有名です。その戦いの中でも「謙信」と「信玄」が一騎打ちをした「第四次川中島の戦い」での謙信の勇姿を、若き人形師「岩堀雄樹」氏が制作しました。

憎き「新型コロナウイルス」を成敗するため、令和4年の三国祭の山車巡行の先陣(壱番山車)を飾ります。

祝儀集積所 ① 森町区民館 19日 10:00 ~ 18:00

**弐番 玉井区 浅井長政** あざいながまさ

嶋川 駿吾 (玉井) 野村 竜跳 (安養寺)  
 中島 凜玖 (玉井) 富澤 つぐみ (福井市)



平成 18 年に当時の玉井区の役員の方々、翌年の山車当番には、越前に馴染みの深い「朝倉義景」を奉納しよう決められ、その時に「朝倉義景」を3回、そして同盟関係にあった「浅井長政」を3回続けて奉納することも決められました。

平成 19 年に初めて「朝倉義景」を奉納した際に、「朝倉氏遺跡保存協会」の方々も武士の姿で山車巡行に同行して下さることに。前回までご協力を戴きました。

平成 28 年に「浅井長政：金ヶ崎の戦い」を奉納し、以後令和元年に「姉川の戦い」、今回は、織田信長軍に敗れ自害した「小谷城の戦い」をテーマにしており、朝倉・浅井シリーズも今回で最後となります。

祝儀集積所 ② 玉井区民館 19日 13:00 ~ 18:00

**参番 森町区 上杉謙信**

**弐番 玉井区 浅井長政**

**大神輿**

**参番 三国祭保存振興会 伊達政宗**

**四番 滝本区 柴田勝家**

**五番 下新区 北条義時**

**六番 元新区 「暫」 鎌倉権五郎景正**

**七番 旭区 真柄 十郎左衛門 直隆・隆基 父子**



**参番 三国祭保存振興会 伊達政宗** だてまさむね

浅沼 彩花 (青葉台) 西出 歩那 (覚善)  
 上田 海杏 (三国東) 山田 美和 (下錦)  
 林 真維子 (楽円) 下迫 煌空 (山上西)

三国祭保存振興会は、伝統ある三国祭を町民の手で守りながら、三国町だけでなく坂井市の三国祭として継承していく活動を行っています。今年の山車人形「伊達政宗」は、安土桃山時代から江戸時代前期にかけて活躍した武将であり、東北を平定して仙台藩を開いた人物です。政宗は、幼少期に天然痘という、伝染力が非常に強く死に至る疾病を患ってしまいます。政宗の場合は、幸い一命を取り止めたが、顔に痕痕(はんこん)が残り、右目を失明してしまいました。その見た目から「独眼竜政宗」と呼ばれることとなります。今年、保存振興会では青年部会をつくり、三国祭初の青山車を巡行(初陣)いたします。



祝儀集積所 ③ 一の部ふれあい福祉館 20日 8:30 ~ 15:00

**四番 滝本区 柴田勝家** しばたかついえ

島田 直美 (東滝本) 湊 一真 (緑ヶ丘)  
 島田 愛菜 (喜宝) 塩出 蒼太 (西滝谷)  
 坪田 明莉 (陣ヶ岡) 奥林 夕登 (仲滝谷)  
 坪田 茉莉 (陣ヶ岡) 林田 芯平 (仲滝谷)

「夏の夜の夢路はかなきあとの名を雲井にあげよ山ほととぎす」と辞世の句を残した勝家。その名は今もなお語り継がれています。「鬼柴田」の異名をもち、猛将として畏怖された勝家は、治政に長けた智将でもありました。勝家が築いた北庄城は、たいへん大きく立派であったと伝わり、城主として、後の礎となる民生の安定や産業振興に積極的に取り組みました。壮絶な最期は、誇り高き武将であった証でしょう。勝家が夢描いた繁栄の地、私たちの故郷がますます発展することを祈願し、堂々たる柴田勝家の姿を再現し奉納いたします。なお、現在の山車(屋台)は、大正10年(1921)井田一洞斎によって製作されたものと記されており、四の部十町内(区)で共有しています。



祝儀集積所 ④ 浜仲滝谷区民館 20日 10:00 ~ 17:00

**五番 下新区 北条義時** ほうじょうよしとき

森 佳穂 (浜滝谷) 貝谷 円和 (浜滝谷)  
 石谷 翼空 (下新) 熊谷 莉結 (緑ヶ丘)  
 川島 桃和 (新宿) 西川 彩香 (あわら市)  
 真柄 優咲 (陣ヶ岡)

下新町は元新町と並び、川沿いには廻船問屋の土蔵が並び、海運業に携わる職業者の多い町となり、江戸中期頃には内田邸、津田邸等の豪商が軒を連ねた事からも、当時商業の中心地を成していたと思われる。また、今回の奉納山車である、北条義時公は、現在NHKの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の中で、小栗旬演じる鎌倉時代初期の武士で、父親の北条時政、姉の北条政子とともに源氏を助けながら鎌倉幕府の屋台骨を築き、頼朝亡き後に鎌倉幕府の実権を握った。その後、父時政を排除し執権としての地位を確固たるものとした。時流を見る目に加えて、冷静な判断力、そして選んだ側を必ず勝ち馬にすることができる実力と強い意志があったと思われる。



祝儀集積所 ⑤ 石谷商店 20日 9:00 ~ 15:00

**七番 旭区 真柄 十郎左衛門 直隆・隆基 父子**

倉橋 知志 (福井市) 荒川 琉奈 (福井市)  
 倉橋 琴子 (福井市) 中出 真功 (東下西)  
 荒川 紗季 (福井市) 浅岡 祐杜 (藤沢)  
 金牧 龍哉 (東下西) 倉橋 美羽 (福井市)



真柄十郎左衛門直隆と嫡男隆基は朝倉氏に仕えた戦国武将で、現在の越前市上真柄町に住居を構えていた。十郎左衛門は巨漢で長さ約3メートルの日本一長い大太刀の使い手として知られ数々の戦で名を挙げた。嫡男である隆基も長さ2メートル以上の大太刀を使い、1570年に「朝倉・浅井連合軍」と「織田・徳川連合軍」が死闘を交えた「姉川の戦い」では父子で出陣し、敵を蹴散らしたといわれる。太刀は「真柄太刀」として名古屋市の熱田神宮に奉納されている。福井市の朝倉遺跡でも真柄父子の活躍ぶりを紹介、模造刀も展示されている。

祝儀集積所 ⑦ 山車蔵近くの車庫 20日 10:00 ~ 15:00

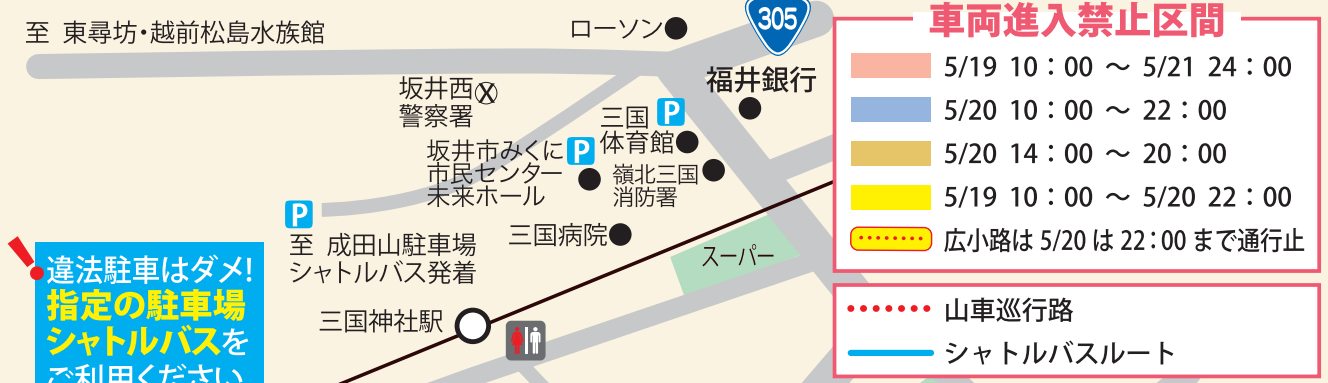
**六番 元新区 「暫」 鎌倉権五郎景正** しばらく かまくらごんごろうかげまさ

佐原 光祐 (元新) 上坂 優月 (下緑)  
 山崎 美和 (陣ヶ岡) 滝埜 珠巳 (米ヶ脇)  
 半澤 茜子 (新宿二丁目) 滝埜 羽楽 (米ヶ脇)  
 伊藤 圭香 (汐見)



現在の屋台は、骨格部分が文政12年(1829年)に製作されたもので、その特徴は中国風の赤い高欄が屋台の上欄に取り付けてあります。この高欄は、万延元年(1860年)、志摩吉三郎(鴻斎)の作で、塗師は初代の井田一洞斎です。水引幕は、明治24年(1891年)に製作された綴織です。今回の山車人形は、歌舞伎の「暫」鎌倉権五郎景正です。十二代の市川團十郎が演じたもので、武家の礼装で大きな家紋を表した大紋の袖を製作しました。昨年、日本で開催された五輪の開会式で披露されました。人形製作は「山車の会」です。

祝儀集積所 ⑥ 元新区山車蔵前 20日 10:00 ~ 15:00



**六番 元新区 「暫」 鎌倉権五郎景正**

佐原 光祐 (元新) 上坂 優月 (下緑)  
 山崎 美和 (陣ヶ岡) 滝埜 珠巳 (米ヶ脇)  
 半澤 茜子 (新宿二丁目) 滝埜 羽楽 (米ヶ脇)  
 伊藤 圭香 (汐見)



祝儀集積所 ⑥ 元新区山車蔵前 20日 10:00 ~ 15:00